

オーテピア高知図書館と高知県立大学の連携企画

「医療衛生と地域・身体をめぐる50冊～木村哲也の世界を手掛かりに～」が始まりました。
本学部からは、飯高伸五准教授、吉川孝准教授が参加しています。

この企画は、高知県立大学戦略的研究推進プロジェクト「永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の保存・整備と利活用に関する実践的研究」の一環で、文献を紹介することで資料の意義について市民の方々と考える取り組みです。オーテピア高知図書館のご協力を得て、さまざまなテーマで文献紹介を行っています。

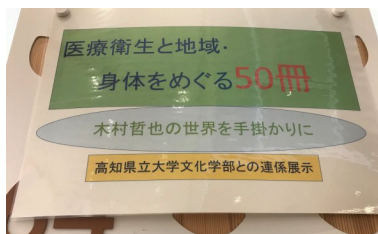
今回のテーマは、「医療衛生と地域・身体をめぐる50冊～木村哲也の世界を手掛かりに～」です。

木村哲也氏は、高知県生まれの著述家、歴史学・民俗学研究者です。現在は国立ハンセン病資料館で学芸員として勤務されています。宮本常一に関する著作のほか、大江満雄と交流のあったハンセン病療養所の人々を訪ね歩き、その交流の軌跡をおった『来者の群像』、高知と沖縄の駐在保健婦の実態を聞き取りと史資料から検討した『駐在保健婦の時代』があります。

感染症に翻弄される現代社会をとらえるための手掛かりになるかもしれません。

ぜひ、オーテピア高知図書館に足をお運びください。紹介されている本には、オーテピア高知図書館職員のみなさまの文献紹介もございます。

5階高知資料コーナー展示A（棚番号64）にて、4月3日まで展示しております。
冊子も無料配布しております。



テーマ文献紹介企画

医療衛生と地域・身体をめぐる50冊

～木村哲也の世界を手掛かりに～

- ・木村哲也の世界を知るための5冊
- ・地域医療のなかの保健婦/保健師を知るための5冊
- ・ハンセン病患者の生活世界と知るための10冊
- ・水俣病患者の生活世界を知るための5冊
- ・統治技法としての医療衛生を知るための5冊
- ・病めることの歴史を知るための10冊

